

## 2022年度事業報告書

特定非営利活動法人I Loveつづき

コロナウィルスの影響を受け、なかなか本来の事業ができない日々がまだまだ続いてきましたが、今年度もできるだけ活動を止めないで、できることを行ってきました。シェアリーカフェはまだまだフル活用は出来ていません。

今年度は外に飛び出す活動が増えました。都筑の魅力を活かしたツアーや出張なかなかラジオ、区民活動センターで実施した大人の部活動講座、そして以前から続けてきた小麦部も活動をほぼ畑で行うなど、シェアリーカフェから外に出て行う活動が多い年になりました。

### 1. 特定非営利活動に係る活動

#### ①地域で生まれる商品、作品等を地域ブランドとして開発し販売を促進するための事業(定款5条-2)

##### 【横濱良品館】

福祉施設や地域の手作り品などを扱う、ネットショップの運営。

日時：2023年4月から2024年3月

場所：インターネットショップ

従業者人数：5名

支出額：238,267円

#### ②地域が活性化していくための情報発信のサポート(定款5条-3)

##### 【ウェブタウンの地域情報サイトの運営】

サイトを拠点に地域情報化の支援を行っています。地域団体のIT支援他、都筑多文化・青少年交流プラザの活動報告書の冊子制作を行いました。

YouTubeなかなかラジオもこちらの事業です。今年度は助成金を受け、なかなかラジオで出張ラジオを行いました。

日時：2022年4月から2023年3月

場所：インターネットサイト

従業者人数：3名

支出額：565,171円

#### ③地域の観光プロモーション(定款5条-6)

##### 【都筑区の緑道探索と地元野菜を楽しむまちづくりプロジェクト】

観光庁の事業で、港北ニュータウンの開発の40年の歴史の財産である都筑区の南北に15キロにわたる緑道、「都市と自然が共存するまちの魅力」と、南部に広がる農地での農体験、収穫体験やその実食と共に、都筑のまちの魅力を全国に発信するツアーを開発する事業を他団体と連携しながら行いました。

日時：2022年7月から2023年2月

場所：都筑区内の緑道と、レストラン、古民家、畑

従業者人数：8名

支出額：8,137,734円

#### ④地域交流を促進するために必要な事業(定款5条-7)

##### 【地元産の小麦を活かした商品開発事業「ヨコハマ小麦部」&「都筑こども小麦部」】

地元産の小麦を活かし、商品開発をし、地域ブランドを創ります。「ヨコハマ小麦部」「都筑こども小麦部」として、地域の人たちを巻き込みながら、魅力ある地域のPRをしました。今年度は東急子ども応援プログラムの助成を受け、ファミリー向け、こどもたちを中心に、開放的な畑の体験活動を中心に実施しました。

日時：2022年4月から2023年3月

場所：池辺町の畑、シェアリーカフェ

従業者人数：5名

支出額：1,069,825円

##### 【コミュニティスペース「シェアリーカフェ」の運営】

地域コミュニティ拠点となる場の提供として、シェアリーカフェを運営し、地域の人がいきいき活躍できるサポートをしました。カフェを通して、人と人のつながりをつくっていくサポートをしています。また、地域の方達の活動を紹介することのできる、「レンタルボックスギャラリー～シェアトリエ」の運営も行いました。

日時：2022年4月から2023年3月

場所：シェアリーカフェ

従業者人数：10名

支出額：5,082,152円

##### 【横浜市介護予防・生活支援サービス補助事業（通所型支援）】

地域の高齢者支援として、横浜市通所型支援事業を、都筑区役所、都筑区社協、中川地域ケアプラザなどしっかりと連携し、支援を行ってきました。徐々に金曜日に人数が増えてきたことから新たに水曜日も増やし、「スマホ相談会」を中心に支援をしてきました。

日時：2022年4月から2023年3月

場所：シェアリーカフェ

従業者人数：3名

支出額：946,726円

##### 【地域団体・企業からの委託事業】

ハウスクエアイベント運営。地域の人たちが楽しめる季節のイベントをハウスクエアの委託で企画し、実施しました。

大人の部活動。地域で何かを始めたい人がつどい、学び、大人の部活動のように交流を深め、講座終了後には大人の部活を立ち上げて楽しく地域活動が出来るように、都筑区役所からの委託で講座を実施しました。

日時：2022年6月から2023年3月

場所：都筑区民活動センター

従業者人数：3名

支出額：1,771,585円

**【自治会町内会へのデジタル支援】・【デジタルクラブつづき】**

金沢区の社会福祉協議会からの依頼でSNS講座を実施しました。

デジタルクラブつづきとしては、地域で児童生徒及び地域住民（社会人、高齢者、障害者を含む）がプログラミング等のICTを楽しく学び合う機会を生み出す、橋渡しが出来るようにと情報共有をしてきました。他団体が実施したイベントに機材の貸し出しを行ったり、一般社団法人イエローピンプロジェクト主催の「プログラミングで海のSDGs」の出前授業を都筑区内の小学校の先生に紹介し、2校の小学校が出前授業の実施が実現したり、それらイベントや出前授業に数名がサポートとして協力しました。2月6日には、総務省地域ICTクラブ交流会in静岡で登壇をし、当法人の活動の現状を発表しました。

日時：2022年4月から2023年3月

場所：横浜市内、静岡県

従業者人数：3名

支出額：124,168円

**【タウンセンター子育て地蔵まつりの運営】 ※1**

センター北と南をつなぐ、「みなきたウォーク」のほぼ中央にあるタウンセンターの「子育て地蔵」の周辺で「子育て地蔵まつり」を開催しました。

日時：2022年9月

場所：みなきたウォーク、早渕川周辺

従業者人数：10名

**【その他、他団体の事業に共催、企業と連携したイベントの実施】 ※1**

中川まちなかマーケット等、地域イベントの企画運営をしました。

また、今年度から、4つの商店会で同時にイベントを行い、4カ所のバスを回遊させる「恐怖のハロウィンバスツアー」を中川駅前商業地区振興会と一緒に実施しました。

場所：中川のまちの遊歩道、ハウスクエア横浜等

従業者人数：8名

※1の事業の合計支出額：531,081円